

健康維持は普段の生活から

## 田川老人クラブ連合会が体カテスト

7月29日、田川老人クラブ連合会が主催した体カテストが田川小学校体育館で行われ、約60人の高齢者が腹筋やウォーキングなどに挑戦しました。

自分の体力を実感し、日常生活の中で健康づくりに生かせるように今回初めて実施しました。

参加者たちは開眼片足立ちや前屈、10m障害物歩行などの種目に挑戦し、自分の体力を把握していました。

参加した高掛アツ子さんは「今日の体カテストに参加する人たちはみんな若いと思います。自分も現在行っている歩こう会でのウォーキングやレクダンスを続けていきたいと思います」と話しました。



▲10m障害物歩行に挑戦する参加者

ゆっくり休憩してください

## 田川科学技術高校がベンチを寄贈

8月9日、田川科学技術高校から石炭・歴史博物館にベンチ2脚が寄贈されました。

これらのベンチは、木製で長さは1.8m。同校生産意匠部の生徒が部活動の一環として約1週間かけて制作しました。

山本作兵衛さんの炭坑記録画などの世界記憶遺産登録により増えている来館者が、景色を楽しみながら気軽に休憩できるよう、2階のテラスに設置しました。

部員の谷川蓮さんと和田真克さん（ともにシステム科学技術科1年）は、「若い人からお年寄りまでいろんな人に使ってもらいたい。観光客のみなさんが座ってゆっくり休憩してくれればとてもうれしい」と話しました。



▲ベンチを設置する谷川さん(右)と和田さん

古代のロマンを感じて

## 石炭・歴史博物館で勾玉づくり

8月13日、石炭・歴史博物館で勾玉づくりが行われ、市内だけでなく、お盆で帰省している家族連れなど約70人の参加者でにぎわいました。

このイベントは、平成16年から夏休みキッズチャレンジとして、手軽に古代の文化を体験できるイベントとして開催されています。

参加者は、実際に勾玉の材料としても使われていた滑石と呼ばれる石をレンガで削った後、やすりで磨き、それぞれオリジナルの勾玉を作りあげました。

参加した鎮西小4年の平塚悠海さんは「思ったよりむずかしかったが、最後はきれいにできてよかった」と話しました。



▲レンガの角を使って上手に削ります